

5月度 安全衛生委員会議事録

開催日時 2023年05月22日(月) 13:00～13:15

場 所 大会議室 (出席27名 欠席3名)

～総括安全衛生管理者から～

寒暖差が大きな時期ですので体調管理には十分注意してください。また、6月から衣替えとなり、社服も夏服となりますが、気温が低い日は冬服を着用する機会もあると思います。作業によっては、裾をまくったりをすると、危険になる場合もありますので、安全には気を付け着用をお願いします。

～安全運転管理者から～

コロナの感染対策が軽減され、昨年の同時期に比べ、休日になると観光地に向かう人出が多くなっています。すなわち、観光地への道も混みます。運転に慣れていない方は十分に注意して下さい。

1. 報告

(1)職場パトロールの報告(別紙参照)

(2)シートベルトの着用調査結果について(別紙参照)

2. 議事

(1)全国安全週間について

事務局より活動内容について提案があり、委員会で審議の上承認された。

期 間 7月1日 ～ 7月7日

※準備月間 : 6月1日 ～ 6月30日

スローガン 高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場

実施内容

07月01日(土)●家庭の安全会議

07月02日(日)●安全確認(自宅環境)と休養の日

07月03日(月)●安全意識の高揚

社長と総括安全衛生管理者からのメッセージ

07月04日(火)●職場安全衛生会議の開催

07月05日(水)●職場の整理、整頓、清掃

07月06日(木)●職場パトロール

07月07日(金)●安全衛生委員会

その他 ポスター掲示、KYTの実施

(2)6月はリスクアセスメントの実施月ですので、各職場で実施をお願いします。

3. 医務室より(別紙参照)

以上

5月度 職場パトロール実施報告

- ・実施日時 05月16日(火) 13:00～15:00
場 所 本社
- ・実施日時 05月17日(水) 13:30～14:00
場 所 小牧工場
- ・実施日時 05月17日(水) 14:00～14:30
場 所 戸倉工場
- ・実施日時 05月16日(火) 10:30～11:00
場 所 長瀬工場
- ・巡 視 者 産業医、安全管理者、衛生管理者

1. パトロール結果

騒音・採光等作業環境の点検

照度および騒音測定を実施した。照度測定は、本社作業場 77 箇所、階段および倉庫 24 箇所、小牧工場 10 箇所、戸倉工場 3 箇所、長瀬工場 3 箇所実施。騒音測定は、本社 7 箇所、小牧工場 9 箇所実施。

測定結果は別紙参照。小牧工場は一部蛍光灯からLED照明に切替。今回、LED照明下の測定結果に(LED)を付記。

以上

フロア一別 騒音・照度測定結果

2023年05月22日
主任衛生管理者



測定日時

本社: 2023年05月16日 13:00~15:00 天候: 晴
小牧: 2023年05月17日 13:30~14:00 天候: 晴
戸倉工場: 2023年05月17日 14:30~15:00 天候: 晴
長瀬工場: 2023年05月16日 10:30~11:00 天候: 晴

測定器: 照度計 T-10WL
51011
騒音計 NL-10A

NO	照度・騒音 フロア一		照度 (lx)				騒音 (dB)		
			1	2	3	備考			
1	101-1F	メカトロ製造G	(北) 572		(南) 566	(1-2F)階段踊り場 608			
2	101-2F	メディカル製造G	(北) 743	(中央) 1820	(南) 747	(2-3F)階段踊り場 635			
3	101-3F	実験室・品質保証部	品証(北) 741	(中央) 716	(南) 606	(3-4F)階段踊り場 676			
4	101-4F	事業本部	(北) 748	(中央) 854	(南) 989	(4-5F)階段踊り場 437			
5	101-5F	メディカル製造G	メディカル 1410	梱包 1064	部組 1482				
6	102-1F	ソリューションT/ 資材受入T	ソリT 438	資材受入 1573		(1-2F)北階段踊り場 277			
7	102-2F	ソリューションT/USBS	USBS 1505	(中央) 1136	(南) 893	(2-3F)北階段踊り場 330			
8	102-3F	ICT推進G/メカトロ製造G	ICT推進G 626	(東) 636	(西) 1085	(3-4F)北階段踊り場 335			
9	102-4F	メカトロ製造G	(北) 460	(中央) 486	(南) 552				
10	103-1F	機械加工G	供給準備 777	旋盤 640	導波管 440	(1-2F)北階段踊り場 413	マシニング 74	NC旋盤 70	
11	103-2F	電子応用T	(北) 687	(中央) 672	(南) 585	(2-3F)北階段踊り場 528			
12	103-3F	生産技術G/電子応用T 機械加工G/品証管理G	電子応用 702	生産技術 522	品証管理 833				
13	105-1F	機械加工G	ボール盤 680	溶接 1300	折り曲げ 910	(1-2F)北階段踊り場 190	バリ取り 82	丸パン 76	折り曲げ 75
14	105-2F	通信応用T	事務 450	組立 1700	梱包 1200	(2-3F)北階段踊り場 380			
15	105-3F	ソリューションT	組立 760	はんだ付 660	テレメータ 400				
16	106-2F	通信応用T	部材事務 650	組立 619	電子応用 646	(1-2F)北階段 南階段 220 180			
17	106-2F	メディカル設計G/ メディカル技術G	(東) 420	(西) 390	実験(西) 680	(2-3F)北階段 南階段 240 110			
18	106-3F	マリン通信T/マリン航法T	(東) 470	(中央) 530	(西) 639	(3-4F)北階段 南階段 280 110			
19	106-4F	マリン航法T	(東) 360	(中央) 640	(西) 577	(4-5F)北階段 南階段 310 180			
20	106-5F	マリン航法T	(東) 1020	(中央) 736	(西) 1700				
21	107-1F	製品物流T	梱包 680	事務 540		(1-2F)東階段踊り場 490			
22	107-2F	生産管理G/技術開発部	技術 1270	生産管理 1100	資材調達 880	(2-3F)東階段踊り場 325			
23	126-1F	資材調達G	資材供給 690	(中央) 620	資材受入 800	倉庫 東 310			
24	126-2F	資材調達G/生産管理G	資材供給 680	(中央) 450	事務 740	(1-2F)東階段 北階段 650 880			
25	128号棟	施設管理G	(中央) 1000						
26	127号棟	経営戦略部	経営企画G 710	財務経理G 480					
27	127号棟	総務部	総務G 900	人事G 1300					
28	日無工芸		サンダー 2090	マスキング 1660	塗装 980		塗装ブース 81	サンダー 72	
29	小牧-1F		管理 540	ダイサー室 1320(LED)	セラミック室 430	セラミック加工室 1420(LED)	混合場 79	ダイサー室 75	セラミック室 70
30	小牧-2F		品証 1360(LED)	探触子 1490(LED)	振動子 1530(LED)		品証 66	探触子 70	振動子 70
31	小牧-3F		探触子 1200(LED)	静電室 1190(LED)	超生技G 722		探触子 66	静電室 66	超生技G 68
32	戸倉工場		組立 951	調整 618	部品庫 465				
33	長瀬工場		組立 1030	事務 537	部品庫 450				

表1 作業内容に求められる推奨照度

照度基準 (JIS Z9110:2010)

照度 (lx)	作業領域又は活動領域の推奨照度
75~150	出入口・通路・作業を伴う倉庫
100~200	階段
150~300	梱包など限定された作業
300~750	キーボード操作および一般的な製造工場での普通の作業
750~1,500	繊維工業での選別・検査、印刷工場での植字・校正、化学工場での分析などでの細かい視作業
1,000~2,000	精密機械・電子部品の製造、印刷工場などでの極めて細かい視作業

表2 騒音測定結果の評価

騒音レベル	管理区分	
85dB未満	I	作業環境の維持継続に努める
85~90dB	II	必要に応じ防音保護具を使用させる
90dB以上	III	防音保護具の使用徹底

「騒音障害防止のためのガイドライン」(平4.10.1 基発第546号より)

交通安全会だより

「シートベルト着用調査」 の結果について

発行 No. 170
発行年月日 2023年05月24日
発行責任者 若林 誠

主題の件、安全衛生委員会委員の皆さんに、各駐車場におけるシートベルト・ヘルメット着用調査を実施していただいた結果を報告いたします。

調査日時 05月11日(木) ~ 05月19日(金) AM7:50 ~ 8:20

駐車場名	男性		女性		計		
	着用	非着用	着用	非着用	着用	非着用	合計
甲田	4	0	3	0	7	0	7
春原	6	0	6	0	12	0	12
小林	11	0	5		16	0	16
荒井	5	0	5	0	10	0	10
渡辺	23	0	7	0	30	0	30
金井	10	0	2	0	12	0	12
竹内	3	0	1	0	4	0	4
山辺1	11	0	2	0	13	0	13
山辺3	1	0	2	0	3	0	3
宮下	4	0	2	0	6	0	6
泉町	14	0	3	0	17	0	17
山崎	6	0	1	0	7	0	7
モータープールⅡ	7	0	4	0	11	0	11
宮原	3	0	0	0	3	0	3
ハーベスト	7	0	3	0	10	0	10
小牧	18	0	14	0	32	0	32
戸倉	2	0	6	0	8	0	8
合計	135	0	66	0	201	0	201
(%)	100.0%	0.0%	100.0%	0%	100.0%	0%	—

参考

2022年04月調査結果	100.0%	0.0%	98.4%	1.6%	99.5%	0.5%
--------------	--------	------	-------	------	-------	------

ヘルメット着用調査(5月11日実施)

本社駐輪場	男性		女性		計		
	着用	非着用	着用	非着用	着用	非着用	合計
バイク	3	0	1	0	4	0	4
自転車	2	12	0	2	2	14	16

自動車に乗ったら必ずシートベルトを着用しましょう! 全ての座席でシートベルトを着用しましょう!
バイクに乗る時は必ずヘルメットを着用しましょう! 自転車に乗る時もヘルメット着用を心掛けましょう!

以上

令和5年度全国安全週間実施要綱

1 趣 旨

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で96回目を迎える。

この間、事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきた。この努力により労働災害は長期的には減少しているところであるが、令和4年の労働災害については、死亡災害は前年を下回る見込みであるものの、休業4日以上死傷災害は前年を上回る見込みであり、近年、増加傾向に歯止めがかからない状況となっている。

特に、転倒や腰痛といった労働者の作業行動に起因する死傷災害、墜落・転落などの死亡災害が依然として後を絶たない状況にある。

また、労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くためには、本年3月に策定された第14次労働災害防止計画に基づく施策を着実に推進するための不断の努力が必要であり、特に初年度となる令和5年度においては、労使一丸となった取組が求められる。

以上を踏まえ、更なる労働災害の減少を図る観点から、令和5年度の全国安全週間は、以下のスローガンの下で取り組む。

高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場

2 期 間

7月1日から7月7日までとする。

なお、全国安全週間の実効を上げるため、6月1日から6月30日までを準備期間とする。

3 主唱者

厚生労働省、中央労働災害防止協会

4 協賛者

建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会

5 協力者

関係行政機関、地方公共団体、安全関係団体、労働組合、経営者団体

6 実施者

各事業場

7 主唱者、協賛者の実施事項

全国安全週間及び準備期間中に次の事項を実施する。

- (1) 安全広報資料等を作成し、配布する。
- (2) 様々な広報媒体を通じて広報する。

- (3) 安全パトロール等を実施する。
- (4) 安全講習会や、事業者間で意見交換し、好事例を情報交換するワークショップ等を開催する。
- (5) 安全衛生に係る表彰を行う。
- (6) 「国民安全の日」(7月1日)の行事に協力する。
- (7) 事業場の実施事項について指導援助する。
- (8) その他「全国安全週間」にふさわしい行事等を行う。

8 協力者への依頼

主唱者は、上記7の事項を実施するため、協力者に対して、支援、協力を依頼する。

9 実施者が準備期間中及び全国安全週間に実施する事項

安全文化を醸成するため、各事業場では、全国安全週間及び準備期間を利用し、次の事項を実施する。

- (1) 安全大会等での経営トップによる安全への所信表明を通じた関係者の意思の統一及び安全意識の高揚
- (2) 安全パトロールによる職場の総点検の実施
- (3) 安全旗の掲揚、標語の掲示、講演会等の開催、安全関係資料の配布等の他、ホームページ等を通じた自社の安全活動等の社会への発信
- (4) 労働者の家族への職場の安全に関する文書の送付、職場見学等の実施による家族への協力の呼びかけ
- (5) 緊急時の措置に係る必要な訓練の実施
- (6) 「安全の日」の設定の他、準備期間及び全国安全週間にふさわしい行事の実施

10 実施者が継続的に実施する事項

全国安全週間における取組をより効果的にするためにも、事業者は、準備期間及び全国安全週間以外についても、以下の事項を継続的に実施する。

- (1) 安全衛生活動の推進
 - ① 安全衛生管理体制の確立
 - ア 年間を通じた安全衛生計画の策定、安全衛生規程及び安全作業マニュアルの整備
 - イ 経営トップによる統括管理、安全管理者等の選任
 - ウ 安全衛生委員会の設置及び労働者の参画を通じた活動の活性化
 - エ 労働安全衛生マネジメントシステムの導入等によるPDCAサイクルの確立
 - ② 安全衛生教育計画の樹立と効果的な安全衛生教育の実施等
 - ア 経営トップから第一線の現場労働者までの階層別の安全衛生教育の実施、特に、雇入れ時教育の徹底及び未熟練労働者に対する教育の実施
 - イ 就業制限業務、作業主任者を選任すべき業務での有資格者の充足
 - ウ 災害事例、安全作業マニュアルを活用した教育内容の充実
 - エ 労働者の安全作業マニュアルの遵守状況の確認
 - ③ 自主的な安全衛生活動の促進
 - ア 発生した労働災害の分析及び再発防止対策の徹底
 - イ 職場巡視、4S活動(整理、整頓、清掃、清潔)、KY(危険予知)活動、ヒヤリ・ハット事例の共有等の日常的な安全活動の充実・活性化

- ④ リスクアセスメントの実施
 - ア リスクアセスメントによる機械設備等の安全化、作業方法の改善
 - イ SDS（安全データシート）等により把握した危険有害性情報に基づく化学物質のリスクアセスメント及びその結果に基づく措置の推進
- ⑤ その他の取組
 - ア 安全に係る知識や労働災害防止のノウハウの着実な継承
 - イ 外部の専門機関、労働安全コンサルタントを活用した安全衛生水準の向上
 - ウ 「テレワークの適切な導入及び実施の推進のためのガイドライン」に基づく、安全衛生に配慮したテレワークの実施
- (2) 業種の特性に応じた労働災害防止対策
 - ① 小売業、社会福祉施設、飲食店等の第三次産業における労働災害防止対策
 - ア 全社的な労働災害の発生状況の把握、分析
 - イ 経営トップが先頭に立つて行う安全衛生方針の作成、周知
 - ウ 職場巡視、4S活動（整理、整頓、清掃、清潔）、KY（危険予知）活動、ヒヤリ・ハット事例の共有等の日常的な安全活動の充実・活性化
 - エ 安全衛生担当者の配置、安全意識の啓発
 - オ パート・アルバイトの労働者への安全衛生教育の徹底
 - ② 陸上貨物運送事業における労働災害防止対策
 - ア 荷台等からの墜落・転落防止対策、保護帽の着用
 - イ 積み卸しに配慮した積付け等による荷崩れ防止対策の実施
 - ウ 歩行者立入禁止エリアの設定等によるフォークリフト使用時の労働災害防止対策の実施
 - エ トラックの逸走防止措置の実施
 - オ トラック後退時の後方確認、立入制限の実施
 - ③ 建設業における労働災害防止対策
 - ア 一般的事項
 - (ア) 足場等からの墜落・転落防止対策の実施、手すり先行工法の積極的な採用、フルハーネス型墜落制止用器具の適切な使用
 - (イ) 職長、安全衛生責任者等に対する安全衛生教育の実施
 - (ウ) 元方事業者による統括安全衛生管理、関係請負人に対する指導の実施
 - (エ) 建設工事の請負契約における適切な安全衛生経費の確保
 - (オ) 輻輳工事における適正な施工計画、作業計画の作成及びこれらに基づく工事の安全な実施
 - (カ) 一定の工事エリア内で複数の工事が近接・密集して実施される場合、発注者及び近接工事の元方事業者による工事エリア別協議組織の設置
 - イ 自然災害からの復旧・復興工事における労働災害防止対策
 - ④ 製造業における労働災害防止対策
 - ア 機械の危険部分への覆いの設置等によるはさまれ・巻き込まれ等防止対策の実施
 - イ 機能安全を活用した機械設備安全対策の推進
 - ウ 作業停止権限等の十分な権限を安全担当者に付与する等の安全管理の実施
 - エ 高経年施設・設備の計画的な更新、優先順位を付けた点検・補修等の実施
 - オ 製造業安全対策官民協議会で開発された、多くの事業場で適応できる「リスクアセスメントの共通化手法」の活用等による、自主的なリスクアセスメントの実施

- ⑤ 林業の労働災害防止対策
 - ア チェーンソーを用いた伐木及び造材作業における保護具、保護衣等の着用並びに適切な作業方法の実施
 - イ 木材伐出機械等を使用する作業における安全の確保
- (3) 業種横断的な労働災害防止対策
 - ① 労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策
 - ア 作業通路における段差等の解消、通路等の凍結防止措置の推進
 - イ 照度の確保、手すりや滑り止めの設置
 - ウ 「転倒等リスク評価セルフチェック票」を活用した転倒リスクの可視化
 - エ 運動プログラムの導入及び労働者のスポーツの習慣化の推進
 - オ 中高年齢女性を対象とした骨粗しょう症健診の受診勧奨
 - カ 「職場における腰痛予防対策指針」に基づく措置の実施
 - ② 高年齢労働者、外国人労働者等に対する労働災害防止対策
 - ア 「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」に基づく措置の実施
 - イ 母国語教材や視聴覚教材の活用等、外国人労働者に理解できる方法による安全衛生教育の実施
 - ウ 派遣労働者、関係請負人を含めた安全管理の徹底や安全活動の活性化
 - ③ 交通労働災害防止対策
 - ア 適正な労働時間管理、走行計画の作成等の走行管理の実施
 - イ 飲酒による運転への影響や睡眠時間の確保等に関する安全衛生教育の実施
 - ウ 災害事例、交通安全情報マップ等を活用した交通安全意識の啓発
 - エ 飲酒、疲労、疾病、睡眠、体調不良の有無等を確認する乗務開始前の点呼の実施
 - ④ 熱中症予防対策（STOP！熱中症 クールワークキャンペーン）
 - ア 暑さ指数（WBGT）の把握とその値に応じた熱中症予防対策の実施
 - イ 作業を管理する者及び労働者に対する教育の実施
 - ウ 事業場における熱中症予防に係る責任体制の確立、発症時・緊急時の措置の確認、周知
 - ⑤ 業務請負等他者に作業を行わせる場合の対策
 - ア 安全衛生経費の確保等、請負人等が安全で衛生的な作業を遂行するための配慮
 - イ その他請負人等が上記10（1）～10（3）④に掲げる事項を円滑に実施するための配慮

全国安全週間について

期 間 07 月 01 日 ～ 07 月 07 日
 ※準備期間 : 06 月 01 日 ～ 06 月 30 日

スローガン 高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場

実施内容

- 07 月 01 日(土) ●家庭の安全会議
- 07 月 02 日(日) ●安全確認(自宅環境)と休養の日
- 07 月 03 日(月) ●安全意識の高揚
 社長と総括安全衛生管理者からのメッセージ
- 07 月 04 日(火) ●職場安全衛生会議の開催
- 07 月 05 日(水) ●職場の整理、整頓、清掃
- 07 月 06 日(木) ●職場パトロール
- 07 月 07 日(金) ●安全衛生委員会

その他

- ポスター掲示
- KYTの実施

医務室 5 月度 安全衛生委員会報告

医務室 武田

1. 超過勤務者の産業医健康相談実施報告

- ・2023年05月度(04/01~04/30の間)70時間を超える時間外労働を行った組合員⇒ 1名
 - ・80時間を超え(休日出勤含む)会社に居残っていた管理職 ⇒ 0名
- 組合員1名につきましては「疲労蓄積度自己診断チェック」を実施中。結果によっては産業医の健康相談を実施します。

2. 医務室への相談件数 (04/25~05/19)

*人数はこの期間の延べ人数

相談内容	メンタル	身体	急患対応	ケガ	保健指導	その他
人数	8	5	0	0	4	4

3. 新型コロナウイルスおよびインフルエンザ発生状況について *04/25~05/18の間

- ・新型コロナウイルス: 2名 (今日現在、休暇者無し)
- ・インフルエンザ : 0名

長野県外の報道ですが、インフルエンザの集団感染も報告されています。今後も予防対策を実施しましょう。社内のアルコール消毒は今後も継続致します。

4. 健康診断実施結果について

(東京営業所含む)

	対象者数	受診者数	受診率(%)
上田日本無線	510	503	98.6
上田ニチム総合ビジネスサービス	69	69	100.0
日無工芸	13	13	100.0
上田生協	1	1	100.0
上田労働組合	1	1	100.0

* 上田日本無線未受診者7名の内訳: 長期病欠者4名, 労災休業1名, 育児休職中2名

5. 特殊健康診断実施について

05月31日(水)に小牧工場、本社に分かれて特殊健康診断を予定しています。すでに該当する職場には通知および時間割を配布しました。対象者は必ず受診していただくようお願いします。

6. 献血実施について

06月01日(木)本社にて献血を実施します。詳細につきましては、イントラに掲示されていますのでご確認ください。多くの皆さまのご協力をお願い致します。

以上